



助言を受け商品のリニューアルに着手

今年の活動のメインは、商品化した「海田さつまの素」のリニューアルについて。先輩方が周知に取り組んでくれたおかげで随分話題になったのですが、最近では販売個数が伸び悩んでいました。背景には、コロナ禍で試食販売会やイベントが次々と中止になり、手に取っていただく機会が減ったからという理由があります。今年2月には「ビジネスフェア中四国2022」が開催され、広島安芸商工会の方が海田さつまの素を出品してくださいました。フェアには関東圏のバイヤーの方もいたようで、「味はいいので、ネーミングを変えてみてはどうだろう」「目を引くパッケージにしてみてもいい」というような助言をいただきました。それらのアドバイスを受け、早速リニューアルに着手。それぞれでラフスケッチを描いて、打ち出したいことを書き出し、話し合いを重ねてきました。現段階では3つのパッケージ案に絞られていて、それをもとにプロジェクトを進めています。カギにしたのは「わかりやすさ」で、そもそも海田さつまが何なのか伝わりにくいため、使っている材料をそのままネーミングに反映し、調理例の写真や鯛のイラストをあしらいます。裏面には海田さつまの説明も載せ、商品名の題字は本校の書道部にも協力してもらう予定です。また、以前に「使い切るのが難しい」という声をいただいたこともあったため、40g×2パックの小分けタイプへの変更を提案しました。リニューアル後の新商品は、令和5年春に販売開始予定です。(清武)

さつまチームに入って得られた学び

色々な工夫をして進めているリニューアルですが、新パッケージのお披露目は私たちが在学中に行われる予定です。卒業を迎える前に、お店で販売することができそうだなと楽しみにしています。もともと私がさつまチームに入ったのは、海田さつまというものを知らなかったから。高校に入ってこの郷土料理を知り、自分でももっと調べたいと思うようになりました。海田町の学校では、自分たちが住む地域について学ぶ機会が多く、小学校の頃は織田幹雄さんについて学習したり、中学校の時には瀬野川でどんなアクティビティができるかを調べて、地域資源の活用方法を探ったりもしました。そんな中で自然と、まちのことをさらに知りたいという気持ちが育まれてきたのかもしれません。課題研究の授業の中で、チームのみんなで、どうしたらもっと海田さつまが広まるか、色々とアイデアを出し合って議論を重ねる時間は、とても充実しています。このチームに入ったことで仲良くなったメンバーもいて、皆でひとつの目標に向かって進む楽しさを知りました。長く続くコロナ禍ですが、最近では少しずつイベントが再開されつつあります。在学中にひとつでも多くのPRの機会に参加し、皆で海田さつまを盛り上げていきたいです。ゆくゆくは、海田さつまが、まちを代表するような観光資源のひとつになったらいいなと思っています。(稲葉)



▲アレンジレシピもたくさん考案しています

やりたいことがたくさん！ 高校生活の集大成にしたい

今

後は、海田さつまを色々な年代の人に食べてほしいと考えています。特にその味を知ってほしいのが小中学生たち。私たちがこの郷土料理を学び、伝承させてもらったように、後輩の皆さんにも地域文化を受け継いでほしいと思います。今年2月に海田町の働きかけもあり、海田さつまを使った焼きおにぎりを海田小学校の給食で提供していただきました。海田さつまは幅広いアレンジができるので、もしもまた給食で扱っていただくことがあれば、マヨネーズとチーズと一緒にパンに塗って焼くトーストを提案したいです。それから10月に福屋本店の屋上で開催された「福屋屋上あおぞら文化祭」にも出展しました。ここでは、同じ課題研究の被服グループがファッションショーを行い、一緒に文化祭を盛り上げました。また、他校の生徒さんたちとも交流を持つことができました。ほかに、YouTubeでレシピの配信をしたり、日頃応援してくれる家族に手料理として振る舞ったりと、海田さつまを使ってやりたいことがたくさんあります。これまで学んできたことを振り返りながら、高校を卒業するその日まで、チームの皆と一緒に走り抜きたいです。(上迫)



▲海田さつまの現在のデザイン

My Favorite
海田のお気に入り

ひまわり大橋から眺める夕日

ひまわり大橋から眺める夕日がすごくきれいです。特に秋の夕日が美しく、一帯をオレンジ色に染める光景は何度見ても見飽きることがありません。4人とも通学路は違いますが、皆必ずこの場所を通るので、「つい見入ってしまうよね」といつも話しています。



今をときめく まちのあの人に募集 会に行く

企画課(役場3階)

TEL 823-9212

Mail kikaku@town.kaita.lg.jp

広報かいたにご出演いただける人を募集中。自薦他薦は問いません。海田町で活躍していたり、新しいことに取り組んでいた、まちのことが大好きな人をお待ちしています。興味がある人は上記の連絡先より問い合わせてください。